

情報解禁 2022年9月15日(木)

HICity 内で使える AR 体験アプリ、未来の自分へメッセージを届ける「思い出絵馬」を新たにリリース。

9/16～19「羽田スマートシティ EXPO2022 秋」にて、AR の遠隔配置の体験企画を開催。配置した AR 絵馬は HICity のデジタル空間に1年間保存予定。

Mixed Reality(複合現実) スタートアップの株式会社 GATARI (ガタリ、本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：竹下俊一、以下「GATARI」) は、大規模複合施設「HANEDA INNOVATION CITY」(所在地：東京都大田区、以下「HICity」) にて、空間ビジネスを展開するために「思い出絵馬」アプリを新たにリリースすることをお知らせいたします。

本アプリでは、視覚 AR コンテンツ『思い出絵馬』を HICity 内で実際にご体験いただけます。HICity で2022年9月16日(金)～19日(月)に開催されるイベント「羽田スマートシティ EXPO2022 秋」にて、体験者が視覚 AR を遠隔で現地に配置し、その後1年間、体験者のスマートフォンから現地で「思い出絵馬」アプリを使って楽しみいただけます。



※イメージ画像

人とインターネットが融け合う世界の実現を目指しエンターテインメントの切り口から Mixed Reality※1プラットフォーム『Auris (オーリス)』の開発・運営を行うスタートアップの GATARI は、この度、HICity の更なる空間ビジネスの DX を目指し、HICity を訪れる来場者がスマートフォンを通して、AR (拡張現実) 体験ができる「思い出絵馬」アプリをリリースすることをお知らせします。それに伴い「羽田スマートシティ EXPO2022 秋」に出展して、イベントに訪れたお客様に思い出を書き込んだ AR 絵馬の配置体験をお楽しみいただける企画を開催いたします。

GATARI は 2020 年のインキュベーションプログラム「HANEDA INNOVATION CITY BUSINESS BUILD」にて GATARI が採択されたことを契機に、「HICity AR」アプリを開発するなど、これまでリアルとデジタルの知見を掛け合わせたビジネス効果の最大化に取り組んできました。

「思い出絵馬」アプリでは、一般参加者が HICity のデジタル空間に配置した絵馬をアプリ上で AR 閲覧することが可能です。特徴は、AR コンテンツを現地に行くことなく遠隔で配置できる点です。イベント「羽田スマートシティ EXPO2022 秋」の GATARI の出展ブースでデジタル絵馬に思い出メッセージを書き込み、オンラインマップ上の起きたい場所にピンを打ち込むと、現地のデジタル空間上に AR 絵馬が保存されます。ピンを打ち込んだ場所に行き、参加者ご自身のスマートフォンにインストールした「思い出絵馬」アプリでカメラをかざすと、書き込んだ絵馬が空間に浮かんでいるように見えます。イベント後の1年間、配置された全てのデジタル絵馬はデジタル空間上に掛かり、「羽田スマートシティ EXPO2022 秋」での思い出や、願い事や目標、未来の自分へのメッセージなどを書く、次に HICity を訪れた際にメッセージを楽しむことができます。

もう一つの特徴は、GATARI が自社開発した MR プラットフォーム「Auris (読み：オーリス)」で活用しているスマホカメラで捉えた映像と事前に空間をスキャンしたデータを照らし合わせて自身の現在地を認識する「VPS 技術」※2と、ARCORE Geospatial API※3 を掛け合わせて、デジタルツイン※4 を作成している点です。今後、HICity でデジタルとリアルの融け合う施設管理・運営に寄与してまいります。また、今後は GATARI が 2020 年に HICity における空間ビジネスの DX 推進を目的に開発した HICity の公式アプリ「HICity AR」との連動も予定しています。

これらの技術をさらに発展させ、将来的に施設のデジタル空間と現地の AR 情報を連携して建物の管理やメンテナンスにも応用を目指し、更なる MR サービス提供を目指してまいります。

- ※1 Mixed Reality (MR、複合現実)：リアル空間とデジタル空間がシームレスに融合し (ミックスされ)、リアルなモノとバーチャルな情報を等価に表示・操作することができる状態のこと
- ※2 VPS (Visual Positioning Service)：スマホのカメラを通じて得られた情報を基に向きや方角などのより細かな位置情報を特定する新たなシステム
- ※3 ARCore Geospatial API：Google が提供する VPS システムで、Google ストリートビューとスマホカメラを通じて得た空間情報を照合して AR を可能にする。
- ※4 デジタルツイン：物理世界を同スケールでデジタル空間に再現した 3D データ

「羽田スマートシティ EXPO2022 秋」概要

日時：2022年9月16日(金)11:00~21:00、17日(土)・18日(日)・19(月・祝)10:00~21:00
場所：HANEDA INNOVATION CITY
主催：羽田みらい開発株式会社
協賛：城南信用金庫
後援：大田区

イベントの詳細はこちらの web サイトをご覧ください。
<https://haneda-innovation-city.com/news/2022/09/02/1774/>

AR 配置体験「思い出絵馬」

「思い出絵馬」は羽田スマートシティ EXPO2022 秋の「スマートシティ体験」のなかで開催します。GATARI のブースで AR 絵馬の遠隔配置体験と、配置場所にてアプリでの AR 閲覧をお楽しみいただけます。

日時：2022年9月16日(金)11:00~17:00、17日(土)・18日(日)10:00~17:00
場所：施設各所 ※GATARI のブースは当日配布のマップをご確認ください。
料金：無料

「思い出絵馬」アプリ概要

- サービス内容：イベント参加者が HICity 内に配置したコンテンツを AR で閲覧可能。
- 利用料：無料
- 対応端末：iOS/iPad OS 12.0 以降

株式会社 GATARI



GATARI は新しいエンターテインメントを切り口に、Society5.0 を見据えた未来のインフラづくりを目指す Mixed Reality スタートアップです。「人とインターネットの融合する世界を創る」というビジョンを掲げ、東京大学を拠点とした日本最大の VR 学生団体 UT-virtual (<https://utvirtual.tech/>) 創設者である代表の竹下によって 2016 年に設立されました。これまで、ゲームエンジンを活用しリアルとデジタルを融合させることで生まれる様々な空間サービスの開拓や研究開発を行ってきました。現在、Mixed Reality エンジニアリングと音響の専門家が在籍するチームがそれぞれの専門領域を活かし、既存フォーマットの 100+1 の体験ではない未来の音声体験を生み出し続けています。

本 社：東京都千代田区神田松永町 16 ダイキビル 4F
代表者：代表取締役 CEO 竹下俊一
設立日：2016 年 4 月 5 日
資本金：6010 万円
事業内容：Mixed Reality プラットフォーム『Auris』の開発、MR コンテンツ制作ほか
GATARI 公式 HP：<https://gatari.co.jp/>

【お問い合わせ先】

株式会社 GATARI (担当：磯野・富山)

[フォーム] https://share.hsforms.com/1M_IQE8HORJiJ2QOkkhSGjAbw75

[メール] contact@gatari.co.jp

※プレスリリースに記載された内容 (価格、仕様、サービス内容等) は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。